

# まちの話題

SHIMOTSUKE CITY  
TOPIX

## 災害に強いまちを目指して 下野市防災訓練

去る2月26日(月)、下野市として初めての防災訓練が保健福祉センターきらら館で実施されました。

この訓練は、下野市を震源とするマグニチュード7.2、震度六の地震が発生したという想定のもと、各種団体が参加し、避難訓練や救助訓練等様々な訓練が行われました。

また参加者が実際に体験できる体験訓練等も実施され、災害現場における連携や、普段からの防災に対する意識の大切さを学びました。



警察・消防をはじめ多くの団体が参加しました



煙道体験

- 【訓練参加協力団体】
- ・下野警察署
  - ・石橋地区消防組合
  - ・陸上自衛隊宇都宮駐屯地
  - ・下野市消防団
  - ・下野市女性防火クラブ
  - ・下野市交通指導員
  - ・特別養護老人ホームいしばし
  - ・下野市グリン保育園
  - ・下野市社会福祉協議会
  - ・下野市ボランティア連絡協議会
  - ・下野市日赤奉仕団

### 【訓練内容】

- ・炊き出し訓練
- ・緊急通信訓練
- ・一斉通報訓練
- ・避難訓練
- ・交通規制訓練
- ・起震車体験
- ・救命救急講習
- ・煙道体験
- ・初期消火訓練
- ・自衛隊車両展示
- ・エアータント設置訓練
- ・避難所設置訓練
- ・ボランティア受付所設置訓練
- ・救援物資輸送搬入訓練
- ・被害状況報告訓練
- ・自衛隊による災害派遣出動訓練
- ・消防隊による出動訓練



展示中の自衛隊車両に乗せてもらいました

## ドキドキの 土器焼き体験

去る2月24日(土)、下野文化体験プログラムの一環で、市内の小学生が土器焼き体験をしました。

1月に粘土で土器を形成してから約1か月乾燥させておいたものを、この日は薪を使って約2時間半焼き上げ、自分だけの縄文土器を完成させることができました。

その他、火おこし体験を通し火の大切さや原始生活の大変さを感じることができたようでした。



縄文土器さながらの出来栄え！

『第一回 下野市教育のつどい』を  
盛大に開催しました

下野市の教育・文化・スポーツの振興を図るため、教育関係者や市民が一堂に会し、「第一回下野市教育のつどい」が2月24日(土)、南河内公民館で行われました。

第一回となる今回は、教育委員会表彰、活動発表、記念講演の三部構成により開催されました。

表彰部門では、文化活動やスポーツ活動で活躍された児童・生徒・一般の方に対する表彰と、中学生の善行篤行表彰が行われました。表彰された方は次のとおりです。(敬称略)

●優秀優良者

▼文化活動

- 赤石 知里 (祇園小五年)
- 近澤 里奈 (緑小二年)
- 塚田 貴人 (石橋小二年)
- 落合 彩華 (古山小四年)
- 本田 有紗 (古山小一年)
- 増淵 悠輝 (国分寺東小六年)
- 秋山絵莉子 (南河内中三年)
- 飯野真理子 (南河内中二年)
- 小池 優歩 (石橋中二年)

▼スポーツ活動

- 蒔田 裕与 (薬師寺小六年)
- 坂本 学應 (薬師寺小五年)
- 古口 陽子 (薬師寺小五年)
- 大島 遥 (薬師寺小五年)
- 小菅 直樹 (祇園小六年)
- 鶴田 倫之 (祇園小六年)
- 河村 達也 (祇園小六年)
- 原田悠太郎 (祇園小五年)
- 平戸 健介 (祇園小五年)
- 野尻 峻行 (石橋小六年)
- 高島 陽介 (古山小六年)
- 生井菜都美 (国分寺西小六年)
- 太田 佳秀 (国分寺東小六年)
- 荒井 菜未 (国分寺東小四年)
- 伊澤 清純 (南河内中三年)
- 島村 直希 (南河内中三年)



【石橋中野球部】

- 須藤 智恵 (南河内第二中三年)
- 福岡 綾 (南河内第二中三年)
- 岩崎 峻大 (南河内第二中二年)
- 高橋 紗椰 (南河内第二中二年)

【スマイル(バトミントン)】

- 有野登代子 久保田清子
- 高梨 和子 高山 道子
- 細川 初枝 黒川 恵里
- 遠藤 朱美 黒川 文子
- 小川 有衣

●善行篤行者

【南河内中三年】

- 川井 崇弘
- 上野 真緒

【南河内第二中三年】

- 長沼 里佳
- 岸野まどか

【石橋中三年】

- 菊地 恭平
- 増山 綾

【国分寺中三年】

- 菊地 祥平
- 瀬下万美子

【石橋中ハンドボール部】

- 山本 和宏 川田 和樹
- 野口 涼太 倉井 拓也
- 田仲 奨郁 齋藤 匠
- 三ツ木雅季 小林 幹
- 滝田 弘一 老沼 優希
- 高山 康介

- 小野 栄大 (国分寺中三年)
- 篠崎 英之 (国分寺中三年)
- 山田千菜美 (国分寺中二年)
- 安澤 克敏 (国分寺中二年)
- 高山 道子 (一般)
- 松本 隆介 (一般)
- 加藤ゆみ子 (一般)



また、活動発表においては、吹奏楽フェスティバルや地区の音楽祭などに参加したり、老人ホーム慰問等で活躍している石橋中学校吹奏楽部による演奏が行われ、日頃の練習の成果を十分発揮する見事な演奏を披露し、会場と一体となった楽しい雰囲気の中、大いに盛り上がりを見せました。

続いて、日本の数学の権威で、薬師寺在住の東京工業大学大学院教授の黒川信重先生による記念講演が行われました。

「おもしろい素数の世界」をテーマに、普段では触れることのない数についての興味深いお話をいただいたき、出席者は先生が語る数字の魅力に熱心に聞き入っていました。

# 下野市民憲章を定めました

平成18年9月に市民委員が参加した下野市民憲章制定委員会（渋田唯弘委員長）が発足されました。委員会では、憲章案を起草しパブリックコメント（意見募集）の意見を参考に草案の検討を重ね、平成19年2月に市長へ憲章案の提言を行いました。

市では憲章案の提言をうけ、平成19年3月の下野市議会で決定されました。

市民憲章は、自然に恵まれ、歴史・文化のかおり高い郷土 下野市の市民6万人が住みよいまちづくりを実現するための、全市民共通の目標（シンボル）として制定しました。

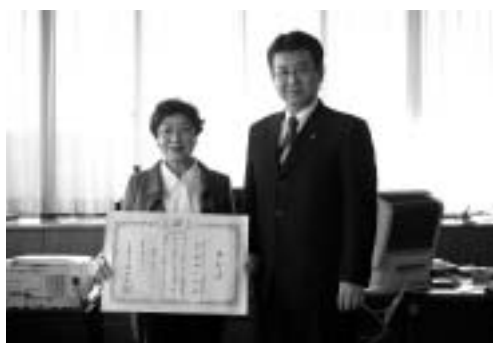
市民憲章が市民に親しまれるよう各種事業等で紹介していきます。



## 下野市民憲章

わたしたちの郷土 下野市は、姿川と田川が生んだ豊かな土壌と、水・ひかり・風のおだやかな自然環境に恵まれています。先人達は、ここに美しい田園の景観や古い歴史と伝統をはぐくみ、継承してきました。わたしたちは、このふるさとを愛し、薰り高い文化を育て、住みよい田園都市をめざして、ここに憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし みどりあふれる美しいまちをつくります
- 1 いのちを尊び 心の通う明るいまちをつくります
- 1 みんなで学びあい 文化のかおるまちをつくります
- 1 働くことをよろこび 暮らし豊かなまちをつくります
- 1 力をあわせ 夢がひろがるたのしいまちをつくります



**女性防火クラブの  
潮田氏に知事表彰**

去る1月11日（木）、栃木県総合文化センターで栃木県民防災の集いが開催され、下野市女性防火クラブ副会長の潮田ヒロ氏（駅東在住）が、栃木県防災・安全功労者知事表彰を受賞しました。

石橋地区女性防火クラブ連絡協議会会長、副会長として長年にわたり会の発展と会員の育成、指導に努力するとともに、春秋の火災予防運動、防火講習会、救急講習会、消火競技大会等に参加する等、各種活動を通じて防火思想の普及に努められました。

## 市内の小中学校に AEDを設置

平成16年7月1日から、医療資格を持たない一般の方のAED（自動体外式除細動器）の使用が認められています。これまで南河内中学校・南河内第二中学校の設置でしたが、このほど市内全小中学校にAEDを設置しました。これに伴い、石橋消防署の指導により、教職員がAEDを用いた心肺蘇生法の講習会を受講しました。



## 人権擁護委員に角田重治氏

4月1日付で、角田重治氏が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

また、前任の館野晴代氏には平成13年6年間に渡り、人権擁護委員として人権問題についてご尽力されました。

人権擁護委員は、人権に関する様々な問題について、相談所で定期的にお受けするほか、電話等でも相談に応じていますので気軽にご相談ください。



自宅 業師寺2347  
電話 ☎(48)1794

## 更生保護女性会の6氏が 県連盟会長表彰を受賞

1月31日（水）に行われた栃木県更生保護女性連盟新春のつどいの席上、本市更生保護女性会員の中野秀氏（石橋在住）、猪瀬ヤス子氏（石橋在住）、杉本八重子氏（柴在住）、近藤マサ氏（業師寺在住）、海老原富美氏（三王山在住）、早川松代氏（花田在住）の6氏が、長年の活動功績を認められ、栃木県更生保護女性連盟会長表彰を受けられました。

また、現在も女性としての立場から地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、社会福祉の増進に尽力されています。